



## 2020年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社パルマ  
 コード番号 3461 URL <http://www.palma.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野 茂久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 清水 誠一

TEL 03-3234-0358

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第3四半期の業績(2019年10月1日～2020年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	2,139	26.9	56	52.5	45	58.4	28	61.2
2019年9月期第3四半期	1,685	62.0	120	31.7	109	24.1	73	23.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	4.60	4.20
2019年9月期第3四半期	11.90	10.94

(注) 当社は、2019年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、2019年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	5,006	1,932	38.6
2019年9月期	4,379	1,953	44.6

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 1,931百万円 2019年9月期 1,952百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		0.00		8.00	8.00
2020年9月期		0.00			
2020年9月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年9月期の業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,552	49.2	553	9.5	530	9.3	371	9.8	59.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期3Q	6,209,600 株	2019年9月期	6,209,600 株
期末自己株式数	2020年9月期3Q	208 株	2019年9月期	208 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期3Q	6,209,392 株	2019年9月期3Q	6,190,666 株

(注) 当社は、2019年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、2019年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(追加情報) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大防止に向けた緊急事態宣言や経済活動の自粛等から、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあり、極めて厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待されます。しかしながら、国内外の感染症の動向や世界金融資本市場の変動等の影響等について留意する必要があります。

このような状況の下、当第3四半期累計期間は、4月から5月において新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言下での事業活動となり、ターンキーソリューションサービスにおける施設開発販売業務に一定期間の停滞がありましたが、在宅勤務や巣ごもり需要等、今までとは異なる生活形態をきっかけとした新たな需要も想定されるなど、セルフストレージの利用は堅調に推移しており、内覧・見積・契約等のセルフストレージ利用に至る手続きをウェブ等の非対面環境で実施できるITサービスを始めとしたBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)サービスを、新型コロナウイルス禍をきっかけに事業活動や外出が制限される期間においても、事業者の運営効率化や利用者の手続迅速化に大きな支障を及ぼすことなく、提供してまいりました。

当第3四半期累計期間の業績は、セルフストレージビジネス向けの各種サービスの受託機会が増加したことにより、売上高は2,139,089千円(前年同四半期比26.9%増)となりました。損益面では、自社運営のセルフストレージ施設への集客推進のための広告費、サービス体制拡充のための増員や事務所移転・拡張等の投資を進めたことにより、営業利益は56,975千円(前年同四半期比52.5%減)、経常利益は45,614千円(前年同四半期比58.4%減)、四半期純利益は28,565千円(前年同四半期比61.2%減)となりました。

当社は単一セグメントのため、セグメントごとの記載はございません。サービス別の概況は以下の通りであります。

## (ビジネスソリューションサービス)

当サービスはセルフストレージ事業者向けに賃料債務保証を付加したアウトソーシングサービスを提供するものであります。当第3四半期累計期間におきましても、当社開発の施設も含めたセルフストレージの認知向上・利用者の増加などを背景に、本サービスの受託件数も堅調に推移しております。以上の結果、売上高は640,089千円(前年同四半期比10.5%増)となりました。

## (ITソリューションサービス)

当サービスでは、ストレージ事業における業務効率化のためのITシステム開発・運用を行っております。当第3四半期累計期間も、引き続きWEB予約決済・在庫管理システム「クラリス」の導入室数が堅調に増加し、オンラインをメインチャネルとしたセルフストレージの申込・契約の一般化が進展しております。以上の結果、売上高は20,632千円(前年同四半期比14.0%増)となりました。

## (ターンキーソリューションサービス)

当サービスは、各種投資家やセルフストレージ事業者等向けにセルフストレージ物件の開発・販売を行っております。当第3四半期累計期間は、新型コロナウイルス禍により、多くの投資家において投資様子見ムードが広がっていましたが、ウィルス収束後の投資再開に向け徐々に動きが出始めた中、施設の新規開発や当社開発物件の運用に注力してまいりました。当第3四半期累計期間は、「キーピット駒沢深沢」「キーピット茅ヶ崎」「キーピット中野」の売却等により、売上高は1,478,367千円(前年同四半期比35.9%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

流動資産は、前事業年度末と比べて580,902千円増加し、4,780,948千円となりました。これは主にセルフストレージ施設の用地取得・開発を推進したことにより、仕掛販売用不動産が42,161千円、販売用不動産が819,767千円増加した一方で、前記及び法人税等の納税等により現金及び預金が342,064千円減少したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末と比べて45,950千円増加し、225,655千円となりました。

この結果、当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べて626,853千円増加し、5,006,603千円となりました。

## (負債の部)

流動負債は、前事業年度末と比べて735,800千円増加し、3,016,165千円となりました。これは主に短期借入金451,729千円増加、1年内返済予定の長期借入金384,754千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末と比べて87,830千円減少し、57,990千円となりました。これは長期借入金87,830千円減少したことによるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べて647,970千円増加し、3,074,155千円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、前事業年度末に比べて21,116千円減少し、1,932,447千円となりました。これは主に、配当金の支払49,675千円及び四半期純利益28,565千円を計上したことによるものであります。

なお、自己資本比率につきましては前事業年度末より6.0ポイント減少し38.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期通期の業績予想及び通期の配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響は不確実性が高いものの、現時点では、2019年11月8日の「2019年9月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。今後、業績予想を修正する必要がある場合には、速やかに開示いたします。

※上記の業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,248,923	1,906,859
金銭の信託	1,350	1,350
売掛金	75,079	72,033
求償債権	267,723	275,439
販売用不動産	—	819,767
仕掛販売用不動産	1,708,061	1,750,223
その他	34,790	112,835
貸倒引当金	△135,883	△157,560
流動資産合計	4,200,045	4,780,948
固定資産		
有形固定資産	3,997	50,315
無形固定資産	30,670	32,188
投資その他の資産	145,035	143,151
固定資産合計	179,704	225,655
資産合計	4,379,750	5,006,603
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	694,699	1,146,429
1年内返済予定の長期借入金	1,102,996	1,487,750
未払法人税等	124,642	13,434
前受収益	109,621	117,925
その他	248,406	250,625
流動負債合計	2,280,365	3,016,165
固定負債		
長期借入金	145,820	57,990
固定負債合計	145,820	57,990
負債合計	2,426,185	3,074,155
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	581,209	581,209
資本剰余金	491,658	491,658
利益剰余金	879,783	858,673
自己株式	△74	△74
株主資本合計	1,952,576	1,931,466
新株予約権	987	981
純資産合計	1,953,564	1,932,447
負債純資産合計	4,379,750	5,006,603

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,685,082	2,139,089
売上原価	1,107,463	1,479,962
売上総利益	577,618	659,126
販売費及び一般管理費	457,613	602,151
営業利益	120,005	56,975
営業外収益		
受取利息	19	19
受取配当金	—	400
債権売却益	544	1,605
償却債権取立益	135	111
債務勘定整理益	—	1,738
その他	37	130
営業外収益合計	737	4,004
営業外費用		
支払利息	11,036	15,364
営業外費用合計	11,036	15,364
経常利益	109,706	45,614
特別損失		
固定資産除却損	14	181
特別損失合計	14	181
税引前四半期純利益	109,692	45,433
法人税、住民税及び事業税	37,539	11,989
法人税等調整額	△1,512	4,878
法人税等合計	36,027	16,868
四半期純利益	73,665	28,565

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響について、今後の収束時期等を正確に予測することは困難な状況にあります。当第3四半期の四半期財務諸表作成日現在においては当社の事業活動への影響は軽微と想定しております。

そのため、当社が当第3四半期の四半期財務諸表の作成にあたって用いた会計上の見積り(販売用不動産の評価、繰延税金資産の回収可能性、固定資産の減損等)については、新型コロナウイルス感染症による重要な影響はないものとの仮定を置いております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、翌事業年度以降において当社の経営成績、財政状態及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

当社の事業セグメントは、セルフストレージビジネスソリューションプロバイダ事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

当社の事業セグメントは、セルフストレージビジネスソリューションプロバイダ事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。